

菰野珠算学園だより

7月号

2025年7月発行

暗算問題の紹介です。

子どもたちが帰った後、少し昔を思い出して、暗算問題をやってみました。「珠算をやることから40年以上も離れているからできないだろう」と思っていましたが、意外や意外、結構覚えていてできるものです。私が珠算を習っていた小学生の頃（昭和50年前後）は、暗算検定を受ける子はほとんどおらず（全珠連の暗算検定が始まったのは、昭和49年）、級段認定試験が主流で、認定試験の一部に暗算の科目が含まれていました（現在も科目の1つとしてあります）。日常生活において、2桁×1桁ぐらいのかけ算は、とっさの時にできるようになっておくといいかもしれません。「78円のペットボトルのお茶を6本買ういくらになるか（468円）」「1リットル160円のガソリンを30リットル入れるいくらになるか（4,800円）」等は、パッとできた方が過ごしやすいです。

2桁以上どうしのかけ算を行う場合、暗算はひっ算やそろばんの珠をはじいて計算を行う場合とでは、若干やり方が違います。例えば $97 \times 84 =$ を計算する場合、ひっ算やそろばんの珠をはじいて行う場合は、97や84の一の位の数字、7や4から関連して計算を始めますが、暗算では十の位数字から計算を始めます。具体的には、まず 97×8 を最初に行います。① $90 \times 8 = 720$ 、② $7 \times 8 = 56$ を①、②の順に行い、合わせて $97 \times 8 = 776$ を記憶します。次に 97×4 を行い、③ $9 \times 4 = 36$ を776の76に加えて812、④ $7 \times 4 = 28$ を、位をずらせて812の2のところから加えて、8148が答えとなります（写真参照）。これを頭の中で整理します。

暗算検定問題では、以下のような問題が出題されています。よろしければ一度お子様と一緒にやってみてください。全珠連・暗算検定では、以下のかけ算、わり算、見取算の問題20題を、それぞれ制限時間3分で解くことになっています。

- ① $94 \times 8 =$ (暗算検定5級) ② $283 \times 4 =$ (暗算検定3級)
③ $38 \times 67 =$ (暗算検定3, 1級) ④ $95 \times 816 =$ (暗算検定1級)

ちなみにわり算は、以下のような問題です。最初の商の見当をつけること、わられる数の一の位とわる数の一の位の数を見て、商の一の位の数の見当をつけることがポイントとなります。珠算でも、わり算で商の見当をつけることが苦手な子が多く見られます。繰り返し練習することで、定着していけばと思います。

- ⑤ $549 \div 9 =$ (暗算検定5級) ⑥ $4,536 \div 81 =$ (暗算検定3級) ⑦ $10,288 \div 643 =$ (暗算検定1級)

珠算教室での子どもたちの様子

当教室では、1~5の練習帳をやっている子について、原則教室に来た時に最低1ページをやり、間違った問題をなおして帰る約束にしています。早く終わった場合、子どもに声をかけると「もうちょっとやるー」と、中には3~4ページを進めていく子もいます。小中学校の通知表の観点も、現在4観点から3観点へと変更になり、その一つが「主体的に学習に取り組む態度」に集約されました。級段の練習をしている子は、最低2科目をやり、間違った問題をやりなおして答え合わせをして帰る（間違えた答えを書き写すことではありません）ことになっていますが、時間に余裕のある子は「意欲」を出して、毎日3科目やるぐらいになると上達をしていくのになあと思っています。

さまざまな習い事やスポーツ活動等もあって、なかなか毎日通うことが難しい子もいますが、たとえ15分でも毎日そろばんに触れている子は、上達しているように感じます。ちょっとでも時間を見つけ、継続してがんばりましょう。

連絡とお願いです。

1. 夏休み期間中は、午前8時~菰野教室、午後1時~千種教室となっています。どちらに来ていただいてもOKです。
2. 「検定試験を合格し、目標を達成したから」「スポーツ活動や他の習い事で時間の調整が難しいから」等の理由で辞められる場合、必ず指導者に一報をお願いします。そろばんやカバンの持ち帰りもお願いします。

